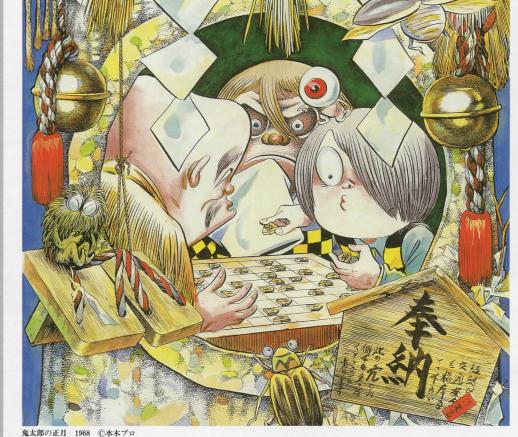
# 水木しげると世界。妖怪展







1998年

7月31日(金)—9月6日(日)

開館時間:午前9時~午後5時(入室は午後4時30分まで) 初日は午前10時より開展式

金曜日は午後7時まで(入室は午後6時30分まで)

休館 日:月曜日

入場料:一般900円(720円)、高・大学生600円(480円)、

小・中学生300円(240円)

()内は前売りおよび団体20名様以上

高松市に住所を有する長寿手帳・身体障害者手帳・療育手帳

または精神障害者保健福祉手帳所持者は無料

■主催 高松市美術館/四国新聞社/西日本放送

■協力 水木しげる/水木プロダクション

■企画協力 ピエロタ

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 TEL.087-823-1711

## 水木しげると世界の鉄怪展



妖怪地図 1988 ①水木プロ

天災や戦争、そして人知では解明できない不思議な存在や出 来事。人間は太古の昔からこれらによって苦しめられたり、驚 かされたりするたびに、架空の生き物・妖怪をつくりだしてき ました。人間が抱える苦しみや不安、そして畏怖の心が妖怪を 生み出してきたのです。

そして古来、目に見えない不可解な存在である妖怪は、もの を作る人々の創造力を刺激し、様々な妖怪の表現が生み出され てきました。中世の妖怪絵巻、江戸時代の妖怪絵など、これら の中には芸術性の高い優れたものが数多く見受けられますが、 現代の妖怪画として見落としてはならないのが、マンガ家・水 木しげるの一連の作品です。

水木しげるは、1922年 (大正11年) に鳥取県境港に生まれ、 紙芝居の絵を描く仕事を経たのち、貸本マンガ家としてデビュ ーしました。そしてその後、『ゲゲゲの鬼太郎』、『悪魔くん』、 『河童の三平』など、妖怪をテーマにしたマンガで一躍人気作家 となりました。また水木は妖怪研究家としても有名で、現在も なお世界各地の妖怪ゆかりの地を訪ね歩くなど、旺盛な研究活 動を続けています。

本展では、この現代を代表する妖怪絵師・水木しげるの作品 世界を中心に、恐怖の対象であると同時に魅力的な存在でもあ る、妖怪の本質に迫ります。水木しげるの作品原画はもちろん、 江戸時代の絵師・葛飾北斎や河鍋暁斎らの妖怪画、そして西洋 の妖精に関する絵画やオブジェなどにより、妖怪の歴史的意味 やその成り立ちなどを分かりやすく紹介します。古今東西の妖 怪の表現を一堂に集めた本展は、妖怪の全貌を知るのにまたと ない機会となることでしょう。

## 「水木しげると世界の妖怪展」お知らせ

- ■「水木しげると世界の妖怪展」記念講演会 演題 水木しげると妖怪のないしょ話 講師 呉智英(評論家) 多田克己(妖怪研究家) 日時 8月2日(日)
  - 午後2時より美術館1階講堂にて 入場料無料:先着200名様
- ■ギャラリートーク

当館学芸員による展示作品の解説 8月8日(土) · 9日(日) · 22日(土) · 23日(日) 各午後2時より2階展示室にて

## 高松市美術館その他催し

■第2期常設展

「前衛陶芸のパイオニア」「名品にみる讃岐漆芸」 9月6日(日)まで1階常設展示室にて

- ■特別展「リキテンスタイン―版画の宇宙―展」 9月18日(金) ~10月25日(日) 2階展示室にて
- ■ミュージアム・ライブ「珍しいキノコ舞踊団」 10月1日(木) 2日(金) ワークショップ 10月3日(土) 公演 1階エントランスホールにて



交诵案内

- ●JR四国/JR高松駅下車、南へ徒歩20分
- ●琴平電鉄/片原町駅下車、徒歩10分
- ●バス路線/紺屋町バス停下車、徒歩3分 ※駐車場/美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)